

畧譜

八

戸田上

二百十一冊、向



庫文湖内			
一	三		和
函	六〇		
九	二八		書
架	冊	號	類



内閣文庫	
番號	和 36088
冊數	21 (34)
函號	156 17

共



記録御用所

藤原姓

戸田

家茂

子又子名

正親町三條権左衛門公活嫡流白

彈正左衛門尉宗光十代松平母波子

康直嫡子

松平母波子

光重

寛永十一年戊午 松平母波子康直家傳

寛文八年申年七月八日病死

光直

戸田因就助 初孫代松 孫七郎

養母 戸田氏藏長女

実母 家女

妻 港口修理宣就女

寛文八年申年九月九日父光重重年終遺  
以每三萬圓加納領之七百石内六千石

分知下の同年十月十日分知少礼の月九角

年六月七日有父母領与光永月終知知

順並儀玉加納上少礼の月十成年一月終

系勤少礼是年隔年一月終知知知

定宝是年一月終知知知知知

如照儀極少系少向与申年終知知知

の月七年六月十日高林政府加知の同年

分知少礼是年八月八年十月十日

淨福の元福二年七月十日大浦儀知

年二月廿六日布衣の月十五世年十月廿五日  
 苗子七日岩門傳通院前大僧尼及住持頼徳  
 月念子及枝木子及下○同年十月廿五日  
 僧尼信宗及信成及信成○同年十一月廿五日  
 二月廿五日同安院之住持下○同年十一月廿五日  
 三月十日頼徳院及人信成困窮之寺以  
 開石大僧尼信成及下○同年十一月廿五日  
 八月廿五日信成相成及下○同年十一月廿五日  
 元申年八月二日死六拾歳小石門頼徳寺

葬

戸田孫七郎

菊松

光言

母 家女

妻 渡邊信成子之元徳女

室永八郎年二月廿八日初見の享年元申年

二月廿九日家督信成子之元配の二月廿年

二月廿日家督信成子之元配の二月廿年

右章院極西一周忌法事申上番の月日



文永二年六月廿一日向後長年方多能者合  
○同大世年六月廿一日向後長年方多能者合  
七月廿一日死於給事某日守身葬

女子 阿波大學西府妻

光清

美和寺母の光無(四男)  
戸田内記也 初敷也

室屋母 家女

妻

長交光言女

後妻

戸田長孫与光輝女

享保十六成年一月廿日初見合以十八成年  
六月廿日有家給事合口元文口未年一月  
廿日漢少屋般火之者口常保口未年一月  
廿七日少見口延享口卯年一月廿日中川若  
口室曆口戌年一月廿日少見口以六子年  
十二月廿六日漢少屋般口卯年一月廿七日死口後長年  
同守身葬

女子 長子光清妻

光清

光智

戸田内花助 永正五年六月

改江 永正

母 戸田美穂子光輝女

妻 池田信守子長興女

子 水石美濃國守

宝曆二申年十二月十二日自見の日記  
三月廿一日家督交代の日記  
八月八日寅年四月廿九日

三月廿一日  
少納言  
三月廿一日  
三月廿一日  
三月廿一日  
三月廿一日

漢書卷之六十四 宣帝本紀 宣帝本紀 宣帝本紀

宣帝本紀 宣帝本紀 宣帝本紀 宣帝本紀

宣帝本紀 宣帝本紀 宣帝本紀 宣帝本紀

宣帝本紀 宣帝本紀 宣帝本紀 宣帝本紀

宣帝本紀 宣帝本紀 宣帝本紀 宣帝本紀

宣帝本紀 宣帝本紀 宣帝本紀 宣帝本紀

宣帝本紀 宣帝本紀 宣帝本紀 宣帝本紀

改原

宝曆十辰年十二月廿八日西九百廿九

之國書前より改原女子家合之由七内改友

輝夜子

光智

戸田源平卿

宝曆十二年十二月十九日

戸田之膳光典輝夜子

孝

久世介之弟 廣業妻

光一

戸田之弟

美之助 内膳助

天保四年正月廿七日 戸田之弟 宣政十年

四月廿五日 宣政十年 宣政十年

五

光行

松平河内守

天明六年二月廿日 戸田之弟 松平美徳子

光悳 輝夜子

光悳

孝

忠之助 松平美徳妻



五

五

有東姓 古十田卜書  
戸田  
松平母波与光守治男

家紋 六ツ足  
連翹

高又右左

戸田源十郎 河申松

光正

河光真 光守 光隆

菅母 戸田正門氏治女

菅母 家女

妻 板倉内膳正重鉅春女















光良

戸田親貞 幼法良氏

寛保二年八月庚辰日死于七条

光政

戸田玄祐 織部 法良氏

光重

美母 家女

光重

九月廿日二男忠成門下

寛保二年十二月二日家督家公同日及之  
貞元(延享)三年十二月廿七日没于大  
河之邊年四十四歳死于白河本因了壽

光重

戸田之膳

光重子

光孝

光孝

因者十部常也義重  
戸田因能如光法重

光人

光人 大是右京亮也道重

光人 竹中玄水定實重

光重

光重

戸田玄祐 幼金重氏

玄長母

実母 家女

玄妻

延享元年十一月廿九日  
月廿七日 家督 宗公 同 年 十二月十二日  
買見の覺 延享元年 宗公 同 國 六月 於  
東 敵 心

有 延 享 元 年 七 月 廿 六 日  
少 元 同 和 二 百 年 八 月 廿 九 日 宣 及 八  
年 五 月 廿 九 日 宣 及 八 日 等

玄智 戶田孫十郎

大 政 郎

玄智

玄妻母

実母 家女

妻 玄父玄直女 婚 同 之 姓

妻 松平志摩子直員女

玄子石 美濃國

宝曆十一年十二月廿九日  
二百年八月廿九日 家督 宗公 同 年 十二月

廿二日圓分人の所和記美年寅月八日波府加取  
有月形山崎の員女子年十月十日有席得  
同九月年二月十日公事場の員女子寅及四  
年十月十日之病光一  
女子 菅子光智女

光陽

親一郎

親貞

寛政四年六月廿七日其以子同五年  
六月十日初見

菅系姓

家紋

六ツ星

戸田

高二千五百石

戸田源右衛門尉家光之次戸田  
左近尉政光之男

光定

戸田平左衛門

初七日

母

素 似身山崎女子某女

永禄七年年一迄百石〇今別成公家也







少別房子仕信年三月十九日  
左後陣之志願年三月廿九日  
年四月廿七日  
三月廿六日申年二月廿九日  
後日某年某地

天正七年  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日

政子

戸田之屋門 卯七月

母松井山藏子某女

天正七年 向井之屋門

柱根極上柱之屋門

右座屋極上柱之屋門

左座屋極上柱之屋門

大敵屋極上柱之屋門

正徳元年



龍結林子書在石中其月四十九日  
是日也其書長心而政道其後子音  
石之實定今于子年七月十日家智其政  
倚其江以月同年六月十日其書在  
因守葬

貞政

戶田年長

寬永年中新銀之長其子也其在

宗姓也

忠貞

西尾内院介

其父在平漢河守其家其在石中其

大書

其幼之書其父也

如子

其父也

其父也其書也

某

戶田年長

早世







母大國原藤子丸吉女

妻淡路内比喜留女

万治二年神田屋辰兵衛平姓  
○寛文十二年七月十日家督の元  
年九月十日家督の元  
月十日家督の元  
六月十日

津佐屋徳丸と為入の元

二年十月

津佐屋徳丸  
子年十月十日家督の元  
正月十日家督の元  
正月十日家督の元  
正月十日家督の元  
正月十日家督の元

改道

戸田屋の節

寛文年中父の改道  
石川屋の節

改定 戸部省 戸部省

表女 戸部省 戸部省

改定

戸部省 戸部省

表女 戸部省 戸部省

元禄六年 二月廿八日 戸部省 戸部省  
三月廿九日 戸部省 戸部省  
四月廿一日 戸部省 戸部省  
五月廿一日 戸部省 戸部省  
六月廿一日 戸部省 戸部省  
七月廿一日 戸部省 戸部省  
八月廿一日 戸部省 戸部省  
九月廿一日 戸部省 戸部省  
十月廿一日 戸部省 戸部省  
十一月廿一日 戸部省 戸部省  
十二月廿一日 戸部省 戸部省

同廿九年一月廿九日  
年四月日  
病允着  
二月廿九日  
二月廿九日  
二月廿九日

女子 長子 長女

改

戸田豊永 高年 七月

母 戸田信子 長女

妻 田部 長女

正徳甲戌年七月廿七日  
年十月廿九日  
年十一月廿九日  
年十二月廿九日  
年正月廿九日  
年二月廿九日  
年三月廿九日  
年四月廿九日  
年五月廿九日  
年六月廿九日  
年七月廿九日  
年八月廿九日  
年九月廿九日  
年十月廿九日  
年十一月廿九日  
年十二月廿九日



博信侯御所の同正二年二月

若菜侯御所の同正二年十月

格七条

信濃

享保七年八月

武田左衛門

正淳

松平長政

享保二年正月

松平右衛門

政友

戸田

兄

女子

川

政友

戸田

政友

若

若

妻 山田伊子 利延女

元文三年十二月 有 山田 利延 之 官 居  
<sub>口年三月廿八日</sub>  
 下 山田 伊子 之 官 居 之 官 年 有 月  
 山田 伊子 之 官 居 之 官 年 有 月  
 十月 下 山田 伊子 之 官 居 之 官 年 有 月  
 一 流 官 居 之 官 年 有 月  
 山田 伊子 之 官 居 之 官 年 有 月  
 二月 下 山田 伊子 之 官 居 之 官 年 有 月  
 六月 下 山田 伊子 之 官 居 之 官 年 有 月

山田伊子

女子 山田伊子 之 官 居 之 官 年 有 月

政原

山田伊子 之 官 居 之 官 年 有 月

山田伊子 之 官 居 之 官 年 有 月

山田伊子 之 官 居 之 官 年 有 月

政備

寛政十三年八月十日御書  
御書

寛政中納言右兵衛尉

光宗

戸田七門 和万丸

長母 尚伊豆守利定女

実母 家女

本母 長父海軍女

長父海軍女  
高砂守右衛門

明和己亥年八月十日御書  
本年七月廿四日御書

九月廿三日御書  
天明己亥年二月廿日

中興公孫の寛政己亥年正月十日御書

西條地保の御書  
七年七月廿日御書

女子 長子 光宗事

光暎

戸田六郎三郎 千世

光加

戸田六郎三郎



寛政三庚午二月廿五日  
同月九月廿五日  
同日死之南院

女子  
実戸田新母收偏女  
布下考之命利思之命難別

光紹  
光紹之郎

寛政八年十二月廿五日  
寛政九年四月廿五日



藤原姓

家紋  
六星  
蛇自  
連翹袴

戸田

字  
立音石

戸田彈正左衛門尉家光之孫  
立音石

生勝  
戸田常雄  
次郎九郎

母  
松平之殿以家忠女

字  
立音石

元和七年四月廿五日  
同月八月廿五日  
立音石



忠常

戸田忠常之傳 忠常

母家女

妻戸田大娘以右利女

寛文二壬寅年十一月九日高九百石戸田  
六百石家移下二百石以曾教了合知  
〇延宝四壬午年四月十日自半書院移〇元禄  
二寅年九月八日公事湯同月〇四月二卯  
年七月廿六日六、七年九月廿三日

秋田國月月〇月八日八〇出酒合之段〇同  
十月廿二日使者亦者庄在〇所。於是〇家以  
元申年四月廿七日〇同年十月九日  
半人〇〇〇〇年〇月十日自病死於九  
歳同守壽

某

戸田教了

日五年二月

元禄二年  
二百石合知教了  
家督絶



忠榮

戸田之節之孫 初之孫

母 戸田大娘次忠利女

忠榮

元禄十六年九月廿九日

宝永二年七月晦日 家督 父合 同年

二月庚辰日 同父 享保九年七月十一日

以書院名 同十三年九月 院後 同年

死 同年

忠英

忠英之印

元禄十六年二月 院後 同年

忠英之印

厚茂 院後

宝永元年十月 院後

城 院後

忠英

忠英之印

忠英 院後

忠英之印

忠雄

戸田八郎忠雄

幼少

母家女

云妻

同日卒

享保十三年十二月日家督小吉信清の元

二年十二月廿六日初九卒性温く寛喜元

子年四月廿日信清の元二年十月日

死二十八年正月日卒

女子

幼少

大坂御所へ侍信長妻

忠雄

信長由大坂へ忠雄の曾

戸田八郎忠雄 大坂御所へ侍信長妻

母家女

信長御所

実母 家女

妻 市屋九左衛門忠雄の元

延享二年閏十一月二日信長御所へ侍信長妻

二日信長御所へ侍信長妻の元二年二月日

信長御所へ侍信長妻の元二年十月日

死後... 忠節

忠釣

戸田富房

和歌

後仕大友

養母 市原左衛門正親女

家母 家女

妻 福田富房 大友女 離別

三六首石

安永六年八月廿二日自刃 同日午十二日  
九月廿九日自刃 同日八月廿九日

其七百家終宣政六年八月廿八日病歿 同日七  
年七月廿九日終

忠準

戸田富房

元和元年十月末終

戸田富房 忠準

忠房

戸田富房

寛政元年八月廿二日自刃 同日午十二日  
九月廿九日自刃 同日八月廿九日  
忠房



右白  
山田平重郷妻

推祐 重太郎妻

女子  
只人

久保多照勝好妻

三人也

山田三郎重忠存後三男

忠養

山田治茂

淡茂

甚之節

寛政元百年十二月廿二日庚子日七  
年七月廿九日癸卯同日八月廿三日癸卯  
日卯十一月廿九日酉九月廿九日午九月廿二  
日卯五物二

藤原姓

忠茂 連朝祿  
六  
年  
自  
辰  
也

山田

高七百俵

山田平重郷 尉宗光源之白

公依与尊身次之男

忠政

山田三郎重忠

母 山田平重郷 氏家忠女

元禄七年

大猷院極茂 山田平重郷之白



加藤村合七右左衛門守景院者○正保二年  
九月廿七日病歿○後之葬本村谷道村  
葬

戸田村  
戸田村合七右左衛門守景院者

忠臣

安養母

實母戸田上佐子之次女

安養

正保二年

忠臣

正保二年

正保二年八月廿五日病歿○後之葬本村  
正保二年八月廿五日病歿○後之葬本村  
正保二年八月廿五日病歿○後之葬本村  
正保二年八月廿五日病歿○後之葬本村  
葬

忠臣

戸田村合七右左衛門守景院者

母家女

安集

元禄に在りし年十二月二十日此組の切取音  
後四月六日有年二月五日相方の出立  
同年六月十日吉吉吉吉吉吉吉吉吉吉  
六月九日瑞雲の室永二月年七月五日  
家督の正徳三年二月五日此組の  
同月四年十一月五日此組の  
同月七年七月五日此組の

女日此の位家本同有集

中老中此

蔭田傳中子 知如常 権佐

定柜

貞享三年二月九日百人組次

府田権佐定子の長子

貞享

有田之節屋の百廿十名の子

忠教

此組の権佐定子の長子

某

戸田如常 子世



女子

女子  
松平定信の御孫 松平定信の御孫

忠誠

戸田重直の御孫

母 家女

妻

家永の御孫 寛政六年四月一日 忠誠の御孫  
十二月廿七日 忠誠の御孫 忠誠の御孫

忠誠の御孫 寛政六年四月一日 忠誠の御孫

元文六年四月一日 忠誠の御孫  
日永十二年四月一日 忠誠の御孫

忠誠の御孫 寛政六年四月一日 忠誠の御孫

忠誠

忠誠の御孫

忠誠

忠誠の御孫 寛政六年四月一日 忠誠の御孫

某

忠誠の御孫 寛政六年四月一日 忠誠の御孫

美之白太夫与忠國七男

元田守宗郎

忠則

守宗郎

家女

妻 忠國七男

元文元年二月七日解長子守宗郎

二年十一月十日守宗郎在任但出切也

百傳子家曆守宗郎十月十日守宗郎

貞享元年十月九日進物番十月十日卒  
守宗郎自死守宗郎守宗郎

忠周

守宗郎

兄長子

忠成

守宗郎 守宗郎

元文元年七月十日守宗郎

守宗郎守宗郎

守宗郎

守宗郎守宗郎 守宗郎

夫人

西條守直正室

少卿之正室福壽

田邊守直

天正九年正月廿七日

大正

日根野守正正室福壽

忠周

實川源兵衛

之田正吉正室 初之助

忠春母

實母 家女

妻 河田半助正親女兼別

高七百俵

宝曆十三年七月五日養子家督少吉

月年十二月廿七日書院番頭和八年六

月之進和也

女子 忠周正女

忠明

實川源兵衛正室

戸田音次正

天正七年三月廿七日

月九年八月廿五日



戸田氏重年廿二  
長女 福徳信三信國維妻

忠喬 戸田鉄五郎

宣政元年六月十八日  
宣政元年六月十八日  
宣政元年六月十八日

者系姓

嘉茂 六ツ星  
若孫

戸田

高之百俵

戸田氏重年廿二  
長女 福徳信三信國維妻

康光曰男

直頼

戸田又三郎

又久

母 水野在馬門女  
長女

妻 之知

宣政元年六月十八日  
宣政元年六月十八日  
宣政元年六月十八日

又合致之割り負お初め月乃心後世其思  
 倉口加増存飲は長織田経長が御年一正  
 月女目毛利新助より賜出感状の奉り口子  
 年四月戸田九左衛門領地之下の長久寺  
 陣之長飽<sup>絶</sup>之由指物洋飲の関糸陣之長  
 物見お初め存子思古竹於伏見之利  
 七人之名も<sup>此</sup>業一人<sup>此</sup>業有飲は長久寺  
 頂戴大合致之割り負お初め月乃心後世  
 之業則河原毛之業之業之業之業之業

○慶長六年 伏見山城番の月十二未年  
 四月廿七日伏見人死七千余本蘇地<sup>前大坂村泉流寺</sup>

直秀 戸田又三郎 五郎右衛門

母 之 和  
 妻  
 天正六年 戸田二郎右衛門 之 武 主 属 不 可 少 陣 持 也 初  
 子 官 石 武 中 内 右 官 石 余 卯 戸 田 右 衛 門  
 分 知 の 名 長 十 一 未 年 四 月 八 日 於 後 河  
 死 野 中 寺 那 阿 於 林 山 村 正 政 寺

直寛

戸田直寛

権次梅上直寛之江秀康公官は乃所

直則

戸田直則

小田直則

某

戸田直則

権次梅上直寛之江秀康公官は乃所

直吉

戸田直吉

小田直吉

直次

戸田直次

初直次

母直次

妻山田直次

早稲田直次

首下直次

十二亥年八月廿四日

直次



直心

戸田常左衛門

母 山室常左衛門好女

妻之如  
元永十年

平書院番の常左衛門十九年山徳寺の

常安之為平山徳寺の御膳二重年二月

八日死之十九年或山徳寺の直心之如

山徳寺の直心之如

高貞

女子

貞子

山室常左衛門直心之如

山室常左衛門直心之如

山室常左衛門直心之如

貞氏

山室常左衛門直心之如

母 貞子

山室常左衛門直心之如

定宝七年九月廿八日山書院番の御膳



父... 市... 類... 德雲寺...  
父... 市... 類... 德雲寺...  
父... 市... 類... 德雲寺...  
父... 市... 類... 德雲寺...  
父... 市... 類... 德雲寺...  
父... 市... 類... 德雲寺...  
父... 市... 類... 德雲寺...  
父... 市... 類... 德雲寺...  
父... 市... 類... 德雲寺...  
父... 市... 類... 德雲寺...

某 戸田金次郎

女子 伴路平屋貞昭妻

貞政

母 約市根長女 政妻

元... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞...  
元... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞...  
元... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞...  
元... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞...  
元... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞...  
元... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞...  
元... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞...  
元... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞...  
元... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞...  
元... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞... 貞...



貞節 河内人。室曆二申年十月卒。死年四十五。以奇葬。

貞年

實國領事... 貞年

養母

家母

妻 長女直政女

後妻 本内右兵衛助忠子女

高之百儀

養父河内人。室曆二申年十月卒。死年四十五。以奇葬。... 貞年... 實國領事... 貞年... 養母... 家母... 妻 長女直政女... 後妻 本内右兵衛助忠子女... 高之百儀... 明和六年二月... 貞年... 實國領事... 貞年... 養母... 家母... 妻 長女直政女... 後妻 本内右兵衛助忠子女... 高之百儀...

皇清宣統元年正月十五日  
宣統元年三月十九日  
宣統元年七月十九日

女子 卷子直年未

直那 子直年未

宣統元年七月十九日  
宣統元年七月十九日  
宣統元年七月十九日

直道

宣統元年八月十九日  
宣統元年八月十九日  
宣統元年八月十九日

绎之

子直年未

成章

子直年未



藤原姓

家紋 六星

戸田

字 六右衛門

戸田源三郎の宗光後胤戸田宗光

直形六郎

戸田市野原

直良

右衛門

妻 山内利房の政勝女

元禄十三年

右徳源宗光の宗光後胤戸田宗光



此西傳戶法親切之意永年中申地可  
 七百石之門也  
 大敵隱存受大書而後以。病先出書信の竟  
 文部年宵月十二日之田切運寄上書

正次

戸田玉造

いふ家書云々

戸田伊勢守 勲章 徳島 揚屋

釋道

釋名

寛文七年三月

母山南刑部右衛門正福女  
 素玉法助之次子長女  
 寛文七年三月  
 卷有隱存大和秋中書法信者之百後の四目付  
 二百俵の借口寛文十一年六月十日書  
 四家老の信云々戸田の百俵の借口書  
 以下是の借口云々知れり是の同年  
 三月廿八日法信の元禄二年七月書  
 知方書云々知れり是の同年七月書  
 以上放書信の通書の九十年の月



直之

戸田常高初成而授常高

母 戸田権九郎直高女

妻 山崎八右衛門色方女

後妻 竹田深之助政就女

享保元年 申年二月之日家督山崎信子享保九

辰年十月乃山崎信子之元文三年甲午一

月乃山崎信子之元文三年甲午一

六月布衣の者保二辰年九月十日死之  
十九日葬河守墓

李貞

秋田年久又 山崎

秋田伊藤某長子

真子

戸田常高 古高

戸田常高 某長子

女子

伏見新田乃勝妻





直著

早稲田

戸田誠一郎

市郎

昭和二十七年七月九日自山内丸の在船六

百七十七日有在在書院街の寛政二

成年二月二十日西九月廿七年二月五日

西九月廿七年二月五日

道存

平長

野子

昭和七年三月五日

平長

李般

稻俣人

豊前 和之郎

昭和六年六月十日

平長

直養

戸田勤

金之助

寛政四年八月廿九日

平長





少人組。貞享元年壬午十月廿五日  
○元禄十二年二月廿五日。北の拾米。官中  
山林守身

貞栄

戸田徳兵衛

養母 是乃市部左衛門末女

実母 玉栄助十郎清次女

妻 戸田徳兵衛 市部左衛門末女

元禄二十三年十一月廿五日。家督小吉清次。  
同二十二年十一月廿五日。市部左衛門。室永元申  
年十一月廿五日。西尾清次。室永元申。以六世  
年十月廿五日。市部左衛門。室永元申。年七月  
月。老免。小吉清次。同廿五日。年六月廿八日  
七世。元禄十二年。以六世。

格儀

戸田可十郎 在光寺

母 杉市守之孫某女

妻 住友洋行在丸屋

室永七郎年二月其日自見之宮深二女  
年十二月廿六日吉切其日自見之宮深二  
年八月八日父死其日自見之宮深二  
和国金年二月十日其日自見之宮深二  
五年十月十日其日自見之宮深二  
年二月六日其日自見之宮深二  
中年十二月廿六日其日自見之宮深二

小島清之孫某之天照之孫年二月廿七老  
兒小島清之孫某之天照之孫年二月廿七  
於西元九月廿六日死年六月廿六日自見之宮深二

女子 林之孫某

庶業

戶田耕太郎

住次郎





天保六年十一月九日 孝子の因六七年

八月廿日 孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

孝子の因六七年十一月

年號葬地之志

重成 戸田右左衛門

母 妻

持親存正少子重成正以伊豆家移居外太之志

元改 戸田右左衛門

母 妻

妻 藤合右左衛門右左女

右左衛門存正少子重成正以伊豆家移居外太之志  
八甲年十一月移居外太之志麻布所  
遊雲寺葬

重秀 戸田右左衛門

母 藤合右左衛門右左女  
妻 藤合右左女

寛文八申年十二月廿七日家督の如く  
通つ延宝四年二月廿日死部  
同身葬

田忠之信 初半之如

心柜

母 福 伴 子 某 女

妻 松 平 親 之 信 某 女

延宝四年七月十二日家督の如く  
支配の天和二年二月廿日半人

四三米百俵

宝永七年六月廿日因但毎以の享保  
二年六月廿八日元方以令身以の月七  
寅年十二月七日左夜史令身以の月七  
文二年八月廿日首者元山清信令身以の  
月年八月廿七日死七拾五歳同身葬

四三米百俵  
之矣其台底之信通字信

戸田忠之信 如 半半

心方

母 松 平 親 之 信 某 女



海人  
家每古備衣古事の事

正徳二年  
正徳二年

正徳二年二月廿九日  
正徳二年三月廿九日  
正徳二年四月廿九日  
正徳二年五月廿九日  
正徳二年六月廿九日  
正徳二年七月廿九日  
正徳二年八月廿九日  
正徳二年九月廿九日  
正徳二年十月廿九日  
正徳二年十一月廿九日  
正徳二年十二月廿九日

女子

長子  
長子

正唯

正唯  
正唯

元文四年九月二十日  
元文五年九月二十日  
元文六年九月二十日  
元文七年九月二十日  
元文八年九月二十日  
元文九年九月二十日  
元文十年九月二十日  
元文十一年九月二十日  
元文十二年九月二十日  
元文十三年九月二十日  
元文十四年九月二十日  
元文十五年九月二十日

女子

長子  
長子



*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*



光忠 戸田権九郎

未詳

戸田之仲女  
九郎之仲女  
徳治三年  
九月廿二日死

藤原姓

家紋 六芒星

戸田

高二百石

戸田彈心忠宗光末孫戸田家

家古後胤

戸田太師存為

忠之

母 嘉

文明十一年庚午奉属 戸田家代



正徳二年八月...  
 台徳院極度...  
 六月死...  
 20天和...  
 成年九月...  
 成年二月...

忠光

戸田半右衛門

母 加 妻 加

元禄六年...  
 病...  
 同...

忠陳

戸田長三郎

忠陳

戸田長三郎

母 和  
妻 和

元禄十六年十一月、家督、普信の正徳  
二年、六月、山陽、備前、高松、藩、  
元禄十六年十一月、家督、普信の正徳  
二年、六月、山陽、備前、高松、藩、  
元禄十六年十一月、家督、普信の正徳  
二年、六月、山陽、備前、高松、藩、

忠勝 之 妻 和

忠勝

母 和  
妻 和

享保六年十月、家督、普信の正徳  
二年、六月、山陽、備前、高松、藩、  
元禄十六年十一月、家督、普信の正徳  
二年、六月、山陽、備前、高松、藩、  
元禄十六年十一月、家督、普信の正徳  
二年、六月、山陽、備前、高松、藩、  
元禄十六年十一月、家督、普信の正徳  
二年、六月、山陽、備前、高松、藩、

忠精

戸田普信

母家女

妻 沼田某女中府知由

寛曆六子年九月廿日家督中府知由以十在年

二月廿日病死只拾米以守身葬

政行

横井小市也

寛延二子年二月廿七日横井友之助承身少信清

忠亮

戸田信九郎

忠恒

戸田信九郎

松平信九郎承身只拾米以守身葬

忠及

戸田信助

母 沼田某女中府知由

妻 某

寛曆十在年六月七日家督中府知由

明和之貞年二月朔日死于之承身守身葬

女子

日 沼田信九郎正得妻

中府知由 依友年九月廿日政行妻



忠亮

戸田清九郎

初巻之節

母

妻 山田清九郎之妻

以和之貞年二月甲寅家督他之續之

甲辰初巻之節水氷九子年四月甲子之節

貞元之節改元年七月甲子之節改元初巻

貞元年七月甲子之節北之節改元初巻初巻

感德守年

忠政

妻 山田清九郎之妻

實母 戸田清九郎之妻

之節百之節

天保二箇年七月甲子之節改元

年七月甲子之節改元初巻

*[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]*



有东姓

家紋 菊

戸田

高七百石

戸田彈正左衛門尉宗光隨胤戸田

玄蕃直光子

戸田又左衛門

直頼

母 嘉

権現権左衛門尉宗光の御孫 義場信子 敬友

直良は別名元好二年十二月廿二日  
 在名取地方より武田信玄より直良の  
 親切と稱し濱松城より九月廿九日  
 下之庄と蒙り踏出ぬる月日  
 三島名余初より四つ踏下下信長より及  
 弟より感状を下り名余は信長より  
 了四信の天正三年四月廿二日  
 直良極 直良の字より直良の字より  
 子年七月關ヶ原より直良の字より

直良は別名元好二年十二月廿二日  
 在名取地方より武田信玄より直良の  
 親切と稱し濱松城より九月廿九日  
 下之庄と蒙り踏出ぬる月日  
 三島名余初より四つ踏下下信長より及  
 弟より感状を下り名余は信長より  
 了四信の天正三年四月廿二日  
 直良極 直良の字より直良の字より  
 子年七月關ヶ原より直良の字より

直良

戸田市所在焉

母 直良  
 妻 山角利初江直良の政勝女



寛永十二年

右使從極上少輔別和七百儀大書書の夜  
西陣の儀江致切之の寛永年中地方  
少門智左陸國産務郡之七百儀大書書の  
大獻儀極上少輔別和の病死少書書の寛  
文九年年四月十日死之百切運守葬

直次

百切運守

母山南刑部儀の政勝女

妻若狭守儀の氏次女

寛永十二年十一月朔生得之太書書の  
并此百儀の寛文二年病死四月九日  
家督若狭守儀の元福四年四月十日死  
七十一歳門守葬

輝道

百切運守

別和の百儀少書書儀若狭守の百儀百切  
運守の寛文十一年六月十一日甲子病死

家光○元禄三年七月廿五日於河内豊  
前与尾初方之官有役須以是之四日  
以古帰通塞の月十丁申年十月晦日死  
今戸田市南郷之坊祀

小南平屋の宗家

女子 一人 江戸町字八  
村田年々夏李重妻

戸田清吉

直勝 女 尾瀬音吉の長女

妻 向井玄厚の政興女 離別

寛文七年十一月六日若山切原武田侯の元祿  
以来年七月余百家替の月九日申年二月廿百  
病歿小南平屋の宗家保十郎年十月廿八日病死  
七十九歳

直澄 小南平屋の宗家

寛文七年十一月六日大南平屋の宗家  
盛次春子

貞昌

戸田市奉行

常憲院原次様御取次上運使御儀  
但重保高年二月余百石番死今白  
甚し御礼

貞雅

戸田市奉行

貞年

貞母

貞母出書下書乃正次女

貞

貞母出書下書乃正次女

正法之元年四月廿六日女子の重保十日

百年八月廿二日家務上書信の同年十月廿

二日大書の重保元年四月廿六日女子の

貞母

貞母

貞母出書下書乃正次女

貞

貞母出書下書乃正次女



直孝

戸田若菜

母 孫殿子御在馬ノ長壽女

西尾若菜

妻 杉浦河内守貞隣女

寛延元年辰年十一月三日家初七百石

小普信の宝曆九年十一月廿七日

上野守若菜

の如く成年二月廿日新御門八百石

正月廿日死字之系日寺

四女

女子 杉浦長門守隣具妻

直石

戸田若菜御 初自孫御

妻 杉浦河内守自隣女

実母 家女

妻 若菜

七百石

明和八年四月廿日家督小普信の如く

申年四月十日辰年四月七日

病歿小普信の如く申年四月廿日

早年九月十日御村多物三之取之字二月廿日寺  
令之取之字三月廿日寺

石井氏家系

石井氏家系

女子

押田氏家系

直義 戸田虎吉

寛政七年七月... 赤松氏



有東氏

家紋

六角 連朝

戸田

了里

戸田氏家系

戸田氏家系

清勝

戸田氏家系

母 妻

戸田氏家系







母 之 如

享和九年八月一日

大秋後徳兵衛在番番口切兵衛百法の意以中  
有年二月一日之番番口切兵衛百法故合口百  
石武蔵國中比知村と福村の所領の所領番  
似知東方村或昔石法後兵衛と下年左馬  
死後兵衛と下年三月八日兵衛百法  
下りの意以中下年四月廿七日死後兵衛  
是日卒年

清道

田舎番

張右衛門

母 之 如

妻 之 如

明暦二年七月五日

寛文十年二月

天明二年

天保二年

文政二年

三月二十日... 保元元年六月... 七月... 死

忠辰

母... 妻... 忠辰

元禄... 保元... 忠辰

保元... 忠辰

忠清

母... 妻... 忠清



享保二年六月十八日  
寛保元年八月  
寛保元年九月  
寛保元年十月  
寛保元年十一月  
寛保元年十二月  
寛保元年正月  
寛保元年二月  
寛保元年三月  
寛保元年四月  
寛保元年五月  
寛保元年六月  
寛保元年七月  
寛保元年八月  
寛保元年九月  
寛保元年十月  
寛保元年十一月  
寛保元年十二月

忠義

寛保二年六月十八日  
寛保元年八月  
寛保元年九月  
寛保元年十月  
寛保元年十一月  
寛保元年十二月  
寛保元年正月  
寛保元年二月  
寛保元年三月  
寛保元年四月  
寛保元年五月  
寛保元年六月  
寛保元年七月  
寛保元年八月  
寛保元年九月  
寛保元年十月  
寛保元年十一月  
寛保元年十二月

孝

寛保二年六月十八日  
寛保元年八月  
寛保元年九月  
寛保元年十月  
寛保元年十一月  
寛保元年十二月  
寛保元年正月  
寛保元年二月  
寛保元年三月  
寛保元年四月  
寛保元年五月  
寛保元年六月  
寛保元年七月  
寛保元年八月  
寛保元年九月  
寛保元年十月  
寛保元年十一月  
寛保元年十二月

忠義

寛保二年六月十八日  
寛保元年八月  
寛保元年九月  
寛保元年十月  
寛保元年十一月  
寛保元年十二月  
寛保元年正月  
寛保元年二月  
寛保元年三月  
寛保元年四月  
寛保元年五月  
寛保元年六月  
寛保元年七月  
寛保元年八月  
寛保元年九月  
寛保元年十月  
寛保元年十一月  
寛保元年十二月

寛保二年六月十八日  
寛保元年八月  
寛保元年九月  
寛保元年十月  
寛保元年十一月  
寛保元年十二月  
寛保元年正月  
寛保元年二月  
寛保元年三月  
寛保元年四月  
寛保元年五月  
寛保元年六月  
寛保元年七月  
寛保元年八月  
寛保元年九月  
寛保元年十月  
寛保元年十一月  
寛保元年十二月

三保三年十一月廿二日  
寶曆八年十二月十九日  
同日  
右  
左

右

昭節

女子

天

少

忠継

戸田獨台 六郎右衛門

昭和六年九月  
甲子

若原姓

家紋

戸田

高

戸田

任人

始

檀

右

左

大

一 某社  
長久保直次郎家今新島縣國府郡

直喜 戸田市尾町 如次 助左衛門

母 尾張吉原門氏次女

妻 曲園縫殿屋門氏道女

貞喜 元禄元年二月九日松田の殿に生れ  
元禄元年三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ

大正十一年四月九日  
三月九日松田の殿に生れ

貞喜 戸田市尾町

母 曲園縫殿屋門氏道女

妻 早川半田市吉村女

貞喜 戸田市尾町  
大正十一年四月九日  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ  
三月九日松田の殿に生れ





本水九子年四月日少書信  
津尾右衛門末吉子

直利

佐治宗右衛門

寛政一戊年三月廿二日田舎具書  
佐治宗右衛門末吉子

女子 長子出良吉

良賢

戸田徳之助

寛政一戊年三月廿二日田舎具書  
初人



藤原姓

家紋

九曜  
五三桐

戸田

高二百八十石

関院左衛門李法胤重源國従人

戸田左門氏職田家書中記

戸田十郎左衛門

重心

母 子 孫

宗書

上総國... 宗下... 大御流極度... 七月八日病死... 葬

重常  
母家女  
妻和

寛文二年... 後有流極度... 工永年七月病死

逸時

母... 元禄六年... 寛永三年



年九月病死以奇葬

其妻有子名...

戸田長右衛門 池田...

時瀬

母

妻 長久遠時女

享保四年十月十八日...

正月十日新田番の寛延二年...

病死以奇葬

孝 長子時瀬妻

時比

母 比河女

妻 長久遠時女

寛延二年十一月...

年十一月...

月廿日右馬助...

乃有布衣の...

合の事永徳元年八月廿二日病死申八  
兼河守藤

高下官方子目

大田福氏の子永徳男

戸田織部

初 芥川

好子

時一

母 時氏女

妻 松平左衛門高隆女

高隆元年三月十一日妻は同日年九月の如く

以和元申年五月十六日大室の月三歳

年八月廿二日病死の事永徳元年八月

六日家督の父永徳元年四月廿二日病死の事

六年年十月廿二日病死の事永徳元年

女子

高子時氏妻

永徳氏 神尾勘三郎幸信妻

戸田中一郎 初在門

時保

母

妻 國成海成子時氏

高子時氏子

元禄六年正月廿七日  
 家督出書居八月八  
 申年十月廿六日  
 國政二年二月廿九日  
 西元新  
 由為宣正七年三月廿九日  
 永享四年四月廿九日  
 享保二年二月十日  
 上  
 女子  
 山崎又次郎春之妻  
 大納言三  
 入事始

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)



家紋  
 虎目  
 連翹祥

戸田  
 言子  
 在  
 在

正徳町三條坊流柱申納三公氏系裔  
 戸田源正重乃尉光忠之別国系裔  
 主之由在在乃尉光忠之代三國信与  
 号忠兵衛

忠高  
 戸田周坊号 初奉助

養母 狂年之敏以家忠女





寛文九年

女子

早稲 養女 官為 政朝妻

早稲 權北 官為 政朝妻

養女

早稲 養女 官為 政朝妻

忠就

養女 須多 久助 均女

須多 久助 均女

養女 秋元 集人 白鳥朝女

養女 寛 新之助 白鳥女

天和元年二月十日 白鳥元 孫子

壬午年三月廿五日 白鳥元 孫子

年十月廿七日 白鳥元 孫子

月二日 白鳥元 孫子

院番 白鳥元 孫子

十月廿八日 白鳥元 孫子

日在 寛文九年 十月 廿八日

死に給ふ事本以奇事

戸田 延平

忠汎

母 寛新市 正直女

妻 漢野月 辰氏備女

享保八年卯年十一月廿四日卯時  
年十一月廿九日卯時  
其七名家格の定章三十五年十一月廿七日

○同年十二月八日卯時  
○同年十二月廿一日卯時  
○同年十二月廿三日卯時  
○同年十二月廿五日卯時  
○同年十二月廿七日卯時  
○同年十二月廿九日卯時  
○同年十二月卅一日卯時  
○同年十二月卅三日卯時  
○同年十二月卅五日卯時  
○同年十二月卅七日卯時  
○同年十二月卅九日卯時  
○同年十二月卅一日卯時  
○同年十二月卅二日卯時  
○同年十二月卅三日卯時  
○同年十二月卅四日卯時  
○同年十二月卅五日卯時  
○同年十二月卅六日卯時  
○同年十二月卅七日卯時  
○同年十二月卅八日卯時  
○同年十二月卅九日卯時  
○同年十二月卅日卯時



改加改の同六子年七月廿日廿九の月七日廿  
二月廿日廿廿廿廿廿廿の同廿二年六月廿  
病死の給の同廿廿廿廿

女子 貞元平戸 貞元平戸 貞元平戸

貞元平戸 貞元平戸 貞元平戸

忠信

母 濱野月信氏備女

妻 松平甲斐守子吉里女

室曆十二年二月廿日廿九の月十二年  
二月廿日廿廿廿廿の同廿二年六月  
九月廿日廿廿廿廿の同廿二年六月  
左の同廿廿廿廿廿の同廿二年六月  
令右の同廿廿廿廿廿の同廿二年六月  
死也七条の同廿廿廿

貞元平戸

義篤

貞元平戸 貞元平戸 貞元平戸

貞元平戸 貞元平戸 貞元平戸

川勝總政廣長事

有由

寛三郎之信之圖集

如字

即多冊下之方事

有由

約以系下之節恭信集

忠誠

善田之忠言七男

三田孫十郎

初孫三郎

家母

家女

妻山本素長後子信家女

有由

有由

明和七年十一月廿七日家督書信  
○  
天保二年二月廿九日家督書信

蘇

忠集

有由

家母

家女

南南 藤原氏 宣女

高野子百七拾石 治河内

天保二年卯年二月廿日 家督出書信

同月九月廿日 宣女 宣女五年九月十

八日 宣女 宣女七年二月廿日 宣女 宣女

宣女八年三月十日 西九所

*[Faint bleed-through text from the reverse side]*

藤原氏

家紋 六ツ星 連 朝 禱

戸田

高六百石

甲府城代 戸田 宣女 宣女

戸田 宣女 宣女

忠重

母 宣女 宣女

妻 宣女 宣女

宣女 宣女 宣女 宣女





忠元

戸田重九郎

孝元

高合  
榎村之殿正隆妻  
小室房  
水谷少兵衛之胎妻

忠義

戸田重三郎

室永六七年一月三日  
幼少母死  
切末之旨候  
享保八年十月廿九日死  
享年八歳同奇

忠貞

戸田重三郎

堀原重徳

直満

堀重九郎

平重直重七郎正満重子

忠里

花房重貞

正流

正流勲子

貞子正流勲子勲子正流勲子

貞子正流勲子

貞子正流勲子

忠貞

母家女

忠貞正流勲子勲子正流勲子

忠貞正流勲子勲子正流勲子

忠貞正流勲子勲子正流勲子

貞子正流勲子勲子正流勲子

貞子正流勲子勲子正流勲子

貞子正流勲子勲子正流勲子

貞子正流勲子勲子正流勲子

貞子正流勲子勲子正流勲子





忠准<sup>上七</sup>

美戸田三郎忠准三男  
戸田喜太郎 飛騨守

養母 戸田市三郎忠貞女

実母 家女

妻 養父戸田忠貞女  
日笠庄信正の孫也

後妻 清葉三郎女

後妻 小林清三郎忠貞女

子 二百石 榎橋忠貞

明和元年申年四月十二日家終忠貞

早同三月廿五日安永五年九月十二日西元一七九九年四月六日  
忠貞没す 享年五十七 其六病

年四月廿五日西元一七九九年四月六日

月廿九日病没す 享年五十七 其六病

丁酉四月廿九日病没す 享年五十七 其六病

忠貞

女子

忠子 忠貞妻  
忠子 忠貞女  
忠子 忠貞孫



Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

為系姓

家紋

六角星  
連蛇目

戸田

三子名

唐花

戸田山城守昌五郎

戸田古作

池太字

古和子

忠章

忠定忠朝

母 秋元敏中子富朝女

宣和九年三月廿五日

初見

貞享二年七月廿日申奥山姓の縁

六百年十二月八日信長史の因上二年



年録日記  
享保二年十月  
廿八日三病丸

望九月廿九日父君昌申之月之少西百石  
新田之少西百石合七年石分知月十日  
十月廿八日京北地番以月廿九年六月十  
日山書院番以月廿九年十月廿日番番  
以山書院七通年二月廿九日病先父合日  
二月廿九年十月廿九日寺山法事大之月  
二月廿九年十月廿八日大番番以再初之享保二  
丁酉年十一月廿九日病先父之月廿九年  
道林寺葬

忠余

戸田誠宗

元禄十二年十一月廿九日家  
番山書院七通年二月廿九日

隆祇

九鬼丹後

元禄十二年十一月廿九日  
九鬼大和守隆子

忠胤

忠深

戸田古作 新卒 三永

母家女

妻之田法路子氏藏女

元禄七年申年二月十日自入京保成  
年二月廿日家物番合○同年六月九日  
改曆初五日越日也○同日廿九年十月  
十日瑞陽○以女子年七月庚寅日治成  
日十三申年八月十二日書院番以○同六  
亥年四月尾初十日○同十八亥年九月  
形治成在五日版了○以十九酉年十月  
十日瑞陽○同年十月十九日

博覧強記○同廿五年二月  
二日○廿九年十月十九日  
○同廿九年九月十日  
○同廿九年八月十日  
○同廿九年七月十日  
○同廿九年六月十日  
○同廿九年五月十日  
○同廿九年四月十日  
○同廿九年三月十日  
○同廿九年二月十日  
○同廿九年一月十日  
○同廿九年十月十日  
○同廿九年九月十日  
○同廿九年八月十日  
○同廿九年七月十日  
○同廿九年六月十日  
○同廿九年五月十日  
○同廿九年四月十日  
○同廿九年三月十日  
○同廿九年二月十日  
○同廿九年一月十日

女子

年之度以力能妻  
有蘭信法与増恒妻  
花房の事と蔵時妻

忠誠

戸田信孝 公望 大子

母 戸田流路の氏成女

妻 西郷流路の貞徳女

寛延三年正月廿八日自刃の事

六子年二月廿七日家督の事

二月廿七日家督の事

義光院存心録送心法事 初五日

年二月廿七日自刃の事

寛延三年六月廿二日

初五日

二月廿七日

二月廿七日

二月廿七日

二月廿七日

二月廿七日

二月廿七日





戸田省太郎 戸田省太郎 戸田省太郎

某 戸田省太郎 早世

忠従 戸田政太郎 女子

母 戸田省太郎 忠従 女子  
素竹 戸田省太郎 忠従 女子

女子 戸田省太郎

忠集 戸田省太郎 女子  
寛政三年十月十日 戸田省太郎 女子  
戸田省太郎 女子

戸田省太郎 女子

忠徳 戸田省太郎

女子 早世

*[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page]*



卷末姓

家紋

六芒星  
自  
連朝袴

戸田

三三石

唐也

戸田彈正左衛門尉宗光宗代戸田宗重

右膳實子惣次

戸田宗重為初文次郎少平次

政次

母  
妻  
如

慶長十三年十月 戸田宗重為初文次郎少平次

此後年月之移柵 妻之如也 宗重為初文次郎少平次







母 石川御前系女

妻 小林長左衛門正植女

享保十三年十月九日家督小室正信の御七  
子年二月廿日病歿年七十八歳

改恒

后常力 文政年小年次

先代子

早川源三信之丞妻

女子

恒右衛門正信妻

夫人

三河源常任内妻

先代

早川源三信之丞妻

改恒

后常力 初文政年常力

長英

妻 小林長左衛門正植女

妻 石川御前系女

妻 早川源三信之丞女

享保十三年九月廿日家督小室正信の御

六申年二月廿日病歿年七十八歳

初仕長英

元文





政信

戸田左近将

政賢

戸田左近将

某

戸田梅太郎



藤原姓

家紋 九曜

戸田

高三十五百石

戸田左門一為之男之戸田左門氏職

次男

氏好

戸田相模守 初三郎左衛門

母松平母波子康吉女

書中根左隅守正成養女

七

寛永十一年二月廿二日  
 氏狭子成成内月氏好子に蓮の廣吉に  
 卯年十月父好子毎子に石分地内廣  
 元年九月廿七日  
 三月九日法衣の寛文元元年一月廿  
 早書後者以の月九年九月廿二日  
 〇延宝四年七月廿二日病狀難治也  
 蓮光寺葬  
 〇江波河内卷の書力 一徳志の長好好の自書

氏胤

戸田備中守持の存令依傳の對

母中根人陽子正威長女

妻保科彈正忠正景女

延宝六年十一月廿二日  
 〇寛文元年十二月廿二日  
 〇天明元年十一月廿二日  
 〇天保元年十一月廿二日  
 〇天保九年十一月廿二日



氏道

戸田平兵衛

延享六年平一子曰平右衛門平右衛門  
分知今戸田平右衛門氏友母也

孝

戸田又七郎且昭宗

宗

戸田平兵衛

早世

氏常

戸田氏部

江村

母保科彈正忠景女

妻阿部忠景女

元禄十三年七月九日家督戸田平右衛門  
大子平二月移戸田平右衛門氏友母也  
七月十日家督忠景女戸田平右衛門氏友母也  
其女名相法戸田平右衛門氏友母也  
其百達忠景の同年九月十日戸田平右衛門氏友母也  
年二月平右衛門氏友母也

氏音

戸田平兵衛

後



保科之永正備長子

氏休 戸田監房

兄長子

名譽

菅谷江舟 貞吉孫

女子

書院白

久保長房 貞徳孫

夫人

氏帝子男

戸田監房 初仍之也 宗達

氏休

養母 池田氏系 教女

實母 阿部氏系 貞房女

生年

家曆八百年九月廿日 家督 安公 同年

十月五日 自見 同利 同年 十二月 卒

長長利 安公 宗達 宗政 元 同年 六月 卒

死 同利 二 宗 同 年 卒



氏純

戸田直計

氏純

氏純

氏純

氏純

以和三年正月十日卒年七十一

三月十九日卒年六十九

有山岡氏之孫和八年三月廿一日卒

氏純

氏純

氏純

氏純

氏純

氏純

氏純

氏純

氏純

氏純

氏純

氏純





Faint, illegible handwritten text in a large rectangular frame on the right page.

藤原姓

家紋

九曜  
地自

戸田

高子儀

戸田兼安正氏定次男

定浩

内膳正

戸田通江子幼十三年三月

母松平日向子信之女

安来

宝永元年申年四月庚午日戸田兼安正氏定次男





定侯

戸田之丞

勝五郎

享文三  
享保四年二月庚午日  
二月廿七日丙午日  
九月某日

氏紹

戸田千三郎

如孫系也

女子

戸田千三郎之妻

女子  
文

孝者備前守流也

左田千三郎之孫也

如孫系也

如孫系也

如孫系也

如孫系也

如孫系也

戸田千三郎

氏紹

如孫系也





女子  
三國書信氏倚其

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

友京此

家紋 九曜

戸田

高丹五百石

諸氏大垣城之戸田在門氏織

之男

氏好

戸田相模与 初之齋屋

如 松平母氏与 康長女

妻中根大隅与 正成妻也

氏首  
二德本

氏統

戸田備中守

世系苗村安右戸田大左氏水祖

氏道

戸田半兵衛

母中根大満子三歳出女

安妻

戸田相模守其子也延享二年年三十四石

分紀

常陸院極楽院中興寺のりつ山寺法皇の病入  
治癒の事一箇年一有月百病死す  
知物也皇女之命也

氏紀

氏系同祖のりつ山寺法皇  
戸田王膳

安妻

安妻 丹波守のりつ山寺

安妻

安妻

文德中甲午九月移居自光○月六年  
 三月九日初全作○山莊○月七年二月  
 廿九日切末之○山莊○月九年七月廿八日相  
 之間○書○月十年七月廿八日道智者  
 ○月九年九月廿九日○山莊○月十年一月廿三  
 日○書○月十年一月廿三日  
 在○山莊○月十年一月廿三日  
 月海日家智○山莊○月十年一月廿三日  
 山莊院音○山莊○月十年一月廿三日

申年六月六日病死果之知同年葬

氏喜

山莊院音  
山莊院音  
山莊院音  
山莊院音

山莊院音  
 山莊院音  
 山莊院音  
 山莊院音

九年三月廿七日  
 山莊院音  
 山莊院音  
 山莊院音  
 山莊院音







*[Faint, mostly illegible handwritten text on the right page]*



源姓

家紋 六角星

戸田

中氏森

子三白儀

八幡太師義家七男末七郎義隆

後胤義隆後子可秀末男

成恒

森豊後守

母 嘉

恒成恒 嘉子之仁弟他九百貫以下。天正







九月十二日死七拾七歳牛五家冬奇舞

高田

戸田平八郎

母家女

云妻

元禄八壬午年十二月十八日家督小吉信○

月九子年十二月十八日山姓組○寶永元年

年十二月廿日

文昭院極楽丸上は乃入の山信○西徳元年

年十二月十八日山姓組○享保十二年

六月廿二日死六拾七歳牛五家冬奇舞

高田

戸田頼母

限居 席巻

母家女

妻云乃山姓組中頼女

享保十二年十二月十八日自家督小吉信○延



享元元年四月廿日名流指。宝曆九年  
九月七日死。名流指。同守葬。

時雄

小長谷権九郎

延享二年六月十七日書信

小長谷権九郎時興書子

祐之

戸田要人

母之殿長外中頼女三〇時頼子

宗吉

延享元年四月廿日。家信。書信。〇四年

十月廿日。書信。〇四年。九月十二日。病

死。〇四年。十月。〇四年。〇四年。〇四年。

〇四年。〇四年。〇四年。〇四年。〇四年。

〇四年。〇四年。〇四年。〇四年。〇四年。

〇四年。〇四年。〇四年。〇四年。〇四年。

〇四年。〇四年。〇四年。〇四年。〇四年。



昌禮 河村長八郎

延享二年閏二月廿九日為丸形町

河村長八郎 伊呂波子

昌琳 秋末源次郎

明和四年八月廿九日為丸形町

秋末源次郎 昌琳長子

東 戶田福太郎 早世

祐武 戸田年一屋

母家女

素篠末六郎河津房女

高之百法

宣和四年十月十二日男惣次

安永八年二月廿七日家督出書信の事

元世年閏五月廿九日為丸形町書院西の寛政

二年四月廿九日為丸形町三月廿九日

六月廿九日為丸形町 上院河津房女

是年三月廿九日為丸形町 上院河津房女



祐光

戸田治世

田舎者信じて以産物とす  
信じて子成

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*



有京姓

水攻六日

戸田

戸田黒田之三百俵

先種三俵

右治

黒田治世

母 妻 不記

信託承出年月二十天正二年二月  
敬請御座候御座候御座候御座候

此書は終身所蔵之書にして、  
方々歎賞するに討たるべき書也、  
國史局蔵、○年月日之知れ

某

戸田友九郎

母之記

妻 實乃 清原 信利 女

台徳院蔵、○十一年、○十一年、○十一年、○十一年

九月廿日、  
○月十九日、  
初九日、  
或初九日、  
はし、  
是、  
漸、  
是、  
○

以江月并之... 寛永二年九月二十日判物  
紙載

相模國大田郡沼貝村  
砂後石温水... 沼貝村  
石温水... 沼貝村  
沼貝村... 沼貝村  
沼貝村... 沼貝村  
沼貝村... 沼貝村

寛永二  
九月二十日

戸田宗清

万石元

之... 戸田宗清... 萬石元

其

戸田宗清

母 被者次帝在是任利女

書之如





光直

高直の長子 戸田若守

良休

母 三好長宗守貞女

妻 左衛門尉忠五郎女

享保九年十一月一日 家督少當任了之文  
二三年十二月一日 西尾宗任組了之文  
年六月廿八日 病死 家督中在年九月  
廿六日 病死 年六月廿五日 病死  
二種公家同古事

中相

西九郎 戸田宗任

妻 左衛門尉忠五郎女

妻 左衛門尉忠五郎女

子 忠直

宝曆六年十一月一日 家督了之文  
年九月廿五日 家督了之文  
月廿七日 家督了之文  
月廿七日 家督了之文

村子合致殺。以和二年十二月廿五日  
節心等事。以和二年十二月廿五日  
之申。以和二年十二月廿五日。以和二年十二月廿五日  
自合致殺。以和二年十二月廿五日。以和二年十二月廿五日  
○安永申申年。以和二年十二月廿五日。以和二年十二月廿五日  
同申申申年。以和二年十二月廿五日。以和二年十二月廿五日  
寛政二年七月廿九日。刑部省。以和二年十二月廿五日  
同申申申年。以和二年十二月廿五日。以和二年十二月廿五日  
一場。以和二年十二月廿五日。以和二年十二月廿五日  
用人。

女子  
由和

戸田

寛政二年九月廿五日

由和

女子  
元  
源  
由和





喜安

三宅信房乃白雲女

屋敷

後藤平右衛門

Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page.



